学びと誇りが実感できるまち

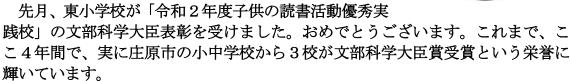
~本を読む!もっと読む!~

令和2年5月号

庄原市教育委員会 教育長 牧原 明人

薄月夜花くちなしの匂いけり

(正岡子規)



「庄原の子供は、いつも今読んでいる本が鞄に入っている」を合言葉に読書活動を推進している本市にとって、重なる受賞は、大変評価された価値あるもので、子供たちとともに喜び合いたいと思います。各学校の読書活動をはじめ、家庭や図書館の取り組み、ボランティア活動による読書推進活動など、今後の読書活動にも弾みが付き、ますます充実していくことを願っています。

さて、新型コロナウイルス感染症防止のために、再び小中学校を臨時休業としています。各家庭における子供たちの過ごし方の基本は、外出を控えること、毎朝の検温、室内換気、手洗いや咳エチケットの励行、また、免疫力を高めるために、十分な睡眠、個人で行う適度な運動(体操・縄跳びなど)、バランスの取れた食生活など、健康管理に努めた生活を心掛けていただきたいと思います。そして、家庭学習を計画的に積極的に行いましょう。

なかでも、学校が休業中、あるいは家庭で過ごす時間が増えるときなどは、意 欲的に本を読み、読書の魅力を満喫してほしいと思っています。

次の表は、読書活動状況を調査した結果の一部です。

1週間:家庭で読書する時間について (%)

学年	_	読まない	1 時間 未満	1~2 時間	2~3 時間	3~4 時間	4 時間 以上
小学校	庄原市	14. 2	39.4	22.8	11.4	5. 1	7. 1
第5学年	広島県	21. 2	37. 5	22. 2	8. 5	4. 1	6. 4
中学校	庄原市	38. 9	28. 4	17. 1	6. 9	2. 9	5. 8
第2学年	広島県	39. 4	32.0	14.8	6. 6	2. 7	4. 5

(令和元年度 広島県「基礎・基本」定着状況調査結果から)

「読書している」と回答した子供の割合は、小学校では85.8%、中学校では61.1%で、いずれも県平均を上回っています。特に、2時間以上読書している割合は、小学校で4.6ポイント、中学校で1.8ポイント上回っています。

読んだ本の数だけ体験できる世界や想像力が広がっていきます。読書を通して、 言葉を学び、感性を磨き、表現力を高めることができます。心豊かになっていき ます。読書好きな子供がもっともっと増えていくことを期待しています。

